

宮本三郎

水辺をめぐる

2026
4/1(水) | 9/6(日)

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

開館時間 10時～18時(入館は17時半まで)
休館日 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、5月4日(月・祝)、7月20日(月・祝)は開館、5月7日(木)、7月21日(火)は休館
観覧料 一般220円(180円)、大高生170円(130円)、65歳以上/中学生110円(90円)
*()内は20名以上の団体料金 *障害者の方は110円(90円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料、介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書を提示のうえ、お申し出ください。
*世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日・祝・休日、夏休み期間は無料

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
電話 03-5483-3336
<http://www.miyamoto-satoru-annex.jp/>





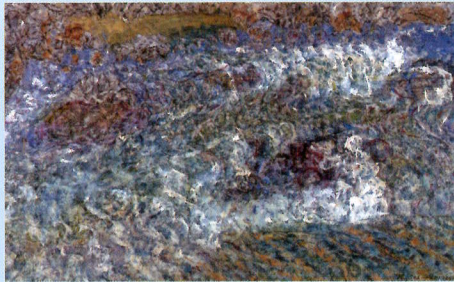
MIYAMOTO Saburo:
Studies of Water

洋画家・宮本三郎（1905.1.19.74）は、水辺の風景に囲まれて育ちました。宮本の故郷は石川県小松市の日本海沿岸部にあたり、当時の地域一帯には「加賀三湖」と呼ばれる潟湖が点在していました。彼は後年、故郷の潟湖の風景を、早朝や夕方と思われる幻想的な光のもとに描いています。

2度にわたる滞欧時には、フランスの風景画の定番モチーフであったエトルタの海岸や、印象派以降の画家が好んで描いた河岸なども題材にしています。ヨーロッパ各地で感受した豊かな色彩は、1960年代後半の明るく軽やかな海浜風景にも通じているようです。

絵画上の実験にも、水の存在は欠かせません。幾層にも絵の具を塗りこめることで川の逆巻く水面を表現した〈流水〉のシリーズや、人の姿を映す水鏡を画中に描き込んだ作例など、随所で水が効果的に取り入れられています。

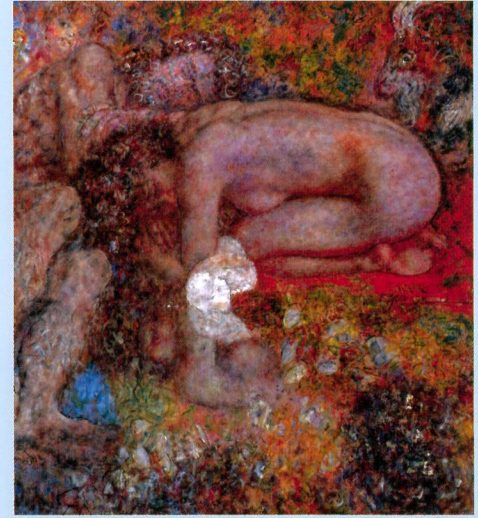
本展では「水」をキーワードに、水辺を題材とした作品、さらに水の反映を活かした作品を紹介します。宮本が描いた水辺をめくりながら、その創造の源流にふれてみてはいかがでしょうか。



1



3



5



2



4



6

- 1 《水》1960年
- 2 《飢渴》1943年
- 3 《題不詳(海水浴)》1971年頃
- 4 《題不詳(潟湖の風景 小松)》1945-48年
- 5 《生》1974年
- 6 《エトルタの海》1939年

世田谷美術館分館
宮本三郎記念美術館

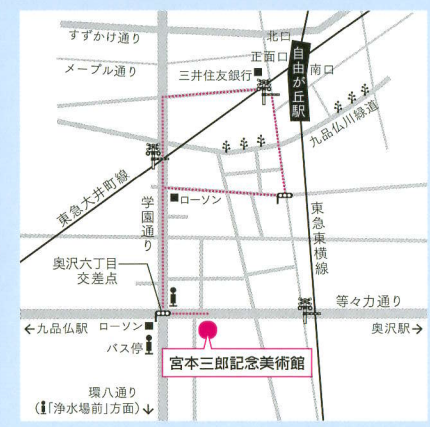
【交通案内】 電車 ● 東急東横線・大井町線「自由が丘」駅より徒歩7分
● 東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分
● 東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分

バス ● 東急バス(渋11)田園調布駅～渋谷駅「奥沢六丁目」下車徒歩1分
● 東急バス(園01)田園調布駅～千歳船橋駅「浄水場前」下車徒歩10分



©宮本和義

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>
@miyamotosabuumuseum_annex



世田谷美術館分館
向井潤吉アトリエ館
〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunktiki-annex.jp/>

向井潤吉の滞欧体験 一若き研鑽の日々、そして民家へ
2026年4月1日(水)～9月6日(日)



©上野剛宏

世田谷美術館分館
清川泰次記念ギャラリー
〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

清川泰次 アトリエの記憶
2026年4月1日(水)～9月6日(日)



©宮本和義

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM
〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL.03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

| | | | |
|-------|--------------|----------------------------------|-------------------|
| 同時開催展 | 企画展 | 開館40周年記念 世田美のあしあと —暮らしと美術のあいだで | 2月21日(土)～4月12日(日) |
| | | 田中信太郎 —意味から遠く離れて | 4月25日(土)～6月28日(日) |
| | | ふたりのアフリカ、手仕事の宇宙 —川田順造・小川待子コレクション | 7月11日(土)～9月6日(日) |
| | ミュージアムコレクション | 武蔵野・再考 —写真家たちの武蔵野と向井潤吉の写真 | 5月2日(土)～7月26日(日) |
| | | 気になる、こんどの収蔵品 —作品がふれてきた物語 | 8月8日(土)～10月25日(日) |

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。

※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。